

# 森林所有者・林業事業者のための ニホンジカ捕獲マニュアル

造林地のシカ被害を軽減するために、森林所有者・林業事業者が自らニホンジカを捕獲し、密度を管理することが必要です。

## 造林地で使用できる罠の種類と特徴

### 移動組立式囲い罠

組立式の囲い罠で、資材が分解可能なため、運搬も容易です。

一度に複数頭のシカを捕獲することが可能です。

ICT 機材を取り付けることで、遠隔監視しながら手動でゲートを閉じたり、捕獲頭数を設定して自動でゲートを閉じることができます。



### 箱罠

囲い罠に比べて、低価格で購入することができ、広い設置スペースが必要ありません。

1~2頭程度、一度に捕獲することが可能です。

赤外線センサーや温度センサー等の機材も取り付けすることができます。

### くくり罠

囲い罠や箱罠に比べて、機材の価格が安く、軽量であることから森林内への持ち運びも容易です。

シカ道上に設置する場合、シカを誘引する必要はありません。

一つの罠で1頭のシカしか捕獲することができないため、警戒心を高めないようにする必要があります。





# 罾を設置する前に 必ず確認すること

## 1 シカが頻繁に出没する場所を探す



夜間に頻繁に出没する場所を探す



新鮮な足跡や糞がある場所を探す



頻繁に通る獣道を探す



### ここがポイント！

シカが出没しない場所に囲い罾や箱罾を設置してもシカを捕獲することはできません。

事前の出没調査をしっかり実施することが、第一のステップです。

## 2 シカを餌で誘引できるか試してみる



使用する誘引餌を置いてみる



赤外線センサーカメラを利用するとシカの出没頭数を確認できます





# 罠い罠・箱罠を 使用する際の注意点

## 1 誘引効果の高い餌を選びましょう



ヘイキューブは  
シカのみを誘引できます



ヘイキューブにしょうゆの  
絞り糟など塩分を含むもの  
混ぜても効果的です。

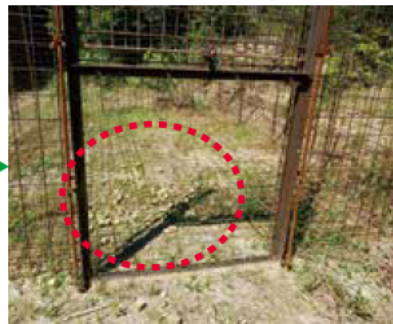
### ✓ ここがポイント！

写真のように古くなったヘイキューブや水分を含んだヘイキューブは誘引力が低下します。

必ず新鮮なヘイキューブを使用しましょう。



## 2 餌付けは、あわてずに、ゆっくりと！



- まずは罠の入口外側に誘引餌を置き、完食すれば入口内側、罠の奥側へと誘引餌を置く場所を変えていきます。
- 罠の奥側の餌がすべて食べられたら、餌付けに成功です。



# くくり罠を 使用する際の注意点

シカは倒木などの障害物がある場合、またいで歩行することから、足を置く位置を予想してくくり罠を設置すると良いでしょう。

誘引餌を置く場合も、シカの足位置を想定して、くくり罠を設置すると捕獲率が上がります。



## ここがポイント！

ヘイクューブ等の餌で誘引すると複数頭のシカが出没することがあります。

くくり罠で1頭だけ捕獲すると、他の個体が警戒心を高め、捕獲場所に近寄らなくなります。

餌で誘引する場合、複数基設置するか、1頭捕獲した後は設置場所を変更することが必要です。

